要望演題 | 1-19 学校保健・疫学・心血管危険因子

要望演題11

児童生徒の心停止、 AED

座長:

三谷 義英 (三重大学)

檜垣 高史 (愛媛大学)

Fri. Jul 17, 2015 4:10 PM - 5:00 PM 第4会場 (1F ジュピター)

II-YB11-01~II-YB11-05

所属正式名称:三谷義英(三重大学医学部 小児科)、檜垣高史(愛媛大学医学部 小児科 地域小児・周産期学講座)

[II-YB11-01]当院が関わった学童心肺蘇生4例の検討 – 学校心臓病検診と 心肺蘇生の意義について –

 $^{\circ}$ 塚田 正範 1 , 鈴木 博 2 , 馬場 恵史 1 , 伊藤 裕貴 3 , 羽二生 尚訓 1 , 星名 哲 1 , 齋藤 昭彦 1 (1.新潟大学医歯学総合病院 小児科, 2.新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 小児科, 3.新潟県立中央病院)

Keywords:学校心臓病検診, bystander CPR, AED

【背景】学校心臓病検診(心検)が、心疾患、不整脈の抽出に有用であることに異論はない。近年、 bystander CPR、 AEDにより救命される症例が増えている。【目的】当院が関わった学童心肺蘇生症例を検討し、心検と心 肺蘇生の意義について検討する。【方法】心検での対応、発症時の状況、 CPR開始・ AED作動までの状況、予後 を診療録から後方視的に検討した。【結果】症例1.13歳男児、中1心検でWPW症候群と診断、経過観察され た。部活からの帰宅途中に、意識消失・転倒している状態で発見。救急隊の到着後から CPR開始され、 AEDで除 細動されたが、低酸素脳症となった。症例2. 15歳男児、徐脈で生後より通院、3歳時に左室心筋緻密化障害と診 断。通学のバス車内で意識消失、同乗者により CPRが開始された。救急隊到着後に AEDを使用したが、死亡し た。症例3.13歳男児、心検異常なし。部活のランニング中に意識消失し、教師により CPR開始、 AEDで除細動さ れた。左冠動脈右冠動脈洞起始と診断され、手術を施行。後遺症なく改善した。症例4.12歳男児、11歳時に感冒 時の心雑音より閉塞性肥大型心筋症と診断。階段を昇った後に意識消失し、教師により CPR開始、 AEDで除細動 された。 ICD植込術施行。後遺症なし。【まとめ】症例1、2は心検等で診断されていたが心イベントを予防でき なかった。さらに学校外であり bystander CPRかつ/または AED使用がされず、不幸な転機となった。症例3は心 検で診断がついていなかったが、学校管理下での CPR、 AEDにより後遺症なく救命できた。症例4は診断がつい ていたが予防はできなかった。しかし学校管理下で適切な心肺蘇生が可能であった。【結語】心検で高リスク例 の抽出と適切な事前対応は重要であるが、限界がある。 心イベント時の救急隊到着後の救命処置だけでは後遺症 のない救命は困難であり、 bystander CPRと AED使用の重要性が再認識された。